

校長室からのお知らせ

1月15日号 NO.35

岸和田市立浜小学校
校長 尾野 武志

勉強する理由

「なんで勉強せなあかんの？」とお子様に聞かれると、どのように答えますか。「テストでいい点を取るため」とか「子どもは勉強するのが当たり前だから」とか「いい大学（会社）に入るため」などは言うてはいけない答えになるそうです。

ビートたけしさんは、「勉強するから、何をしたいか分かる。勉強しないから、何をしたいか分からない。」と答え、野口英世さんは、「誰よりも三倍、四倍、五倍、勉強する者、それが天才だ。」の言葉を残し、【男はつらいよ】の寅さんは、「人間長い間生きてりゃいろんなことにぶつかるだろう、なあ？そんな時に俺みたいに勉強してない奴は、振ったさいころの出た目で決めるとか、その時の気分で決めるしかしょうがない。ところが勉強した奴は、自分の頭できちんと筋道をたてて、こういう時はどうしたらいいかなと考えることができるんだ。」と映画の中で甥っ子を諭しています。

ビートたけしさん、野口英世さん、寅さんの3人の言葉はそれぞれに重みと個性が感じられ、数ある名言の中から私自身が「なるほど。」と納得したものを紹介させていただきました。

特に寅さんの台詞は、深い言葉だなと少し感動してしまいました。社会に出ると、本当に正解もなく頭を抱えることしかできないような困難に直面することが少なからずあると思います。そのようなときに、あきらめずに「自分の頭できちんと筋道をたてて、考えることができる」人になっておけば、逃げだしたり落ち込んだりせずに済むと思います。

勉強は、難しいです。難しいから、悩んだり考えたり苦しんだりします。時間をかけても分からないこともありますので、少しでも理解できるように、もっと悩んでもっと考えてもっと苦しみます。そうすると、悩み考え苦しむことに慣れることができると思います。決して、名言ではありませんが、「悩み考え苦しむことに慣れるために、勉強する。」が私の答えになりそうです。

